



クラウドデータの意味についてよく寄せられる 質問

Cloud Manager

Tom Onacki, Ben Cammett
July 08, 2021

目次

クラウドデータの意味についてよく寄せられる質問	1
クラウドデータの意味	1
クラウドデータが適している理由	1
クラウドデータの意味でよく使用されるユースケースはどれですか？	1
Cloud Data Sense でスキャンできるデータの種類の種類はどれですか？	1
サポートされているクラウドプロバイダを教えてください。	2
Cloud Data Sense へのアクセス方法	2
クラウドデータはどのように動作するのでしょうか。	2
クラウドデータのコストはどれくらいですか？	2
クラウドデータセンスにはどのようなタイプのインスタンスまたは VM が必要ですか。	2
Cloud Data Sense はどのくらいの頻度でデータをスキャンしますか？	3
Cloud Data Sense はレポートを提供していますか？	3
スキャンのパフォーマンスは変化しますか？	3
サポートされているファイルタイプはどれですか。	4
クラウドデータセンスを有効にする方法	4
クラウドデータセンスを無効にする方法	4
Cloud Volumes ONTAP でデータ階層化が有効になっている場合はどうなりますか。	4
クラウドデータセンスを使用してオンプレミスの ONTAP ストレージをスキャンできますか。	4
Cloud Data Sense は、自分の組織に通知を送信できますか？	5
組織のニーズに合わせてサービスをカスタマイズできますか。	5
ファイルに埋め込まれた AIP ラベルを使用して Cloud Data Sense を実行できますか。	5
クラウドデータの意味に関する情報を特定のユーザに制限できますか。	5

クラウドデータの意味についてよく寄せられる質問

この FAQ は、質問に対する簡単な回答を探している場合に役立ちます。

クラウドデータの意味

クラウドデータセンス（クラウドコンプライアンス）は、人工知能（ AI ）ベースのテクノロジーを使用して、組織がデータコンテキストを理解し、ストレージシステム全体で機密データを識別できるようにするクラウドソリューションです。システムには、 Azure NetApp Files 構成、 AWS または Azure でホストされる Cloud Volumes ONTAP システム、 Amazon S3 バケット、オンプレミス ONTAP システム、ネットアップ以外のファイル共有、汎用の S3 オブジェクトストレージ、データベース、OneDrive アカウントがあります。

Cloud Data Sense は、事前定義されたパラメータ（機密情報の種類やカテゴリなど）を提供し、 GDPR 、 CCPA 、 HIPAA などのデータプライバシーと機密性に関する新しいデータコンプライアンス規制に対応します。

クラウドデータが適している理由

Cloud Data Sense は、データを活用して以下のことを支援します。

- データコンプライアンスやプライバシーの規制に準拠
- データ保持ポリシーに準拠
- GDPR 、 CCPA 、 HIPAA 、その他のデータプライバシー規制の要件に応じて、データ主体に応じて特定のデータを容易に検索し、レポートを作成できます。

クラウドデータの意味でよく使用されるユースケースはどれですか？

- 個人識別情報（ PII ）を識別します。
- GDPR および CCPA のプライバシー規制の要件に応じて、さまざまな機密情報の範囲を特定します。
- データプライバシーに関する新しい規制や今後の規制に対応できます。

["Cloud Data Sense のユースケースについて詳しくは、こちらをご覧ください"](#)。

Cloud Data Sense でスキャンできるデータの種類の種類はどれですか？

クラウドデータセンスは、 Cloud Volumes ONTAP 、 Azure NetApp Files 、オンプレミスの ONTAP システムで管理されている NFS プロトコルと CIFS プロトコルを介した非構造化データのスキャンをサポートします。また、 Amazon S3 バケット、汎用の S3 オブジェクトストレージ、およびネットアップ以外のファイル共有に格納されているデータもスキャンできます。

さらに、データセンスでは、任意の場所にあるデータベースやユーザファイルを OneDrive アカウントからスキャンできます。

["スキャンの仕組みを説明します"](#)。

サポートされているクラウドプロバイダを教えてください。

Cloud Data Sense は Cloud Manager の一部として機能し、現在は AWS と Azure をサポートしている。これにより、異なるクラウドプロバイダ間で統一されたプライバシー可視性を実現できます。

Cloud Data Sense へのアクセス方法

Cloud Data Sense は、Cloud Manager を通じて運用、管理されます。Data Sense 機能には、Cloud Manager の * Data Sense * タブからアクセスできます。

クラウドデータはどのように動作するのでしょうか。

Cloud Data Sense は、Cloud Manager システムやストレージシステムと並行して、もう 1 つの人工知能レイヤを導入します。次に、ボリューム、バケット、データベース、OneDrive アカウントのデータをスキャンして、見つかったデータ分析のインデックスを作成します。

["Cloud Data Sense の仕組みの詳細はこちらをご覧ください"](#)。

クラウドデータのコストはどれくらいですか？

クラウドデータセンスの使用コストは、スキャンするデータの量によって異なります。データをスキャンする、Cloud Manager ワークスペース内の最初の 1TB のデータは無料です。その後もデータのスキャンを続行するには、AWS または Azure Marketplace へのサブスクリプションが必要です。を参照してください ["価格設定"](#) を参照してください。

クラウドデータセンスにはどのようなタイプのインスタンスまたは VM が必要ですか。

- Azure では、Cloud Data Sense はデフォルトで、512 GB のディスクを搭載した Standard_D16s_v3 VM 上で実行されます。
- AWS では、Cloud Data Sense はデフォルトで、500 GB の gp2 ディスクを使用する m5.-m 構築 インスタンスで実行されます。

m5.mcd を使用できない領域では、代わりに m4.mcd インスタンスに対してデータセンスを実行します。

また、ネットワーク内またはクラウド内の Linux ホストに Data Sense ソフトウェアをダウンロードしてインストールすることもできます。すべてが同じように機能し、Cloud Manager を使用してスキャンの設定と結果を引き続き管理できます。を参照してください ["クラウドデータセンスをオンプレミスに導入"](#) を参照してください。

CPU 数と RAM 容量が少ないシステムには Data Sense を導入できますが、これらのシステムの使用には制限があります。を参照してください ["小さいインスタンスタイプを使用しています"](#) を参照してください。



Cloud Data Sense は、オンプレミスにインストールされている S3 バケットと ANF ファイルをスキャンすることができない。

["Cloud Data Sense の仕組みの詳細はこちらをご覧ください"](#)。

Cloud Data Sense はどのくらいの頻度でデータをスキャンしますか？

データが頻繁に変更されるため、Cloud Data Sense は、データに影響を与えることなくデータを継続的にスキャンします。データの初回スキャンには時間がかかる場合がありますが、その後のスキャンでは差分変更のみがスキャンされるため、システムのスキャン時間が短縮されます。

["スキャンの仕組みを説明します"](#)。

データスキャンは、ストレージシステムとデータにほとんど影響を与えません。ただし、影響が非常に小さい場合でも、低速スキャンを実行するようにデータセンスを設定できます。 ["スキャン速度を下げる方法を参照してください"](#)。

Cloud Data Sense はレポートを提供していますか？

はい。Cloud Data Sense が提供する情報は、組織内の他の関係者にも関係があるため、レポートを作成して分析情報を共有することができます。

Data Sense で使用できるレポートは次のとおりです。

プライバシーリスクアセスメントレポート

データからプライバシーに関する情報を収集し、プライバシーリスクスコアを取得します。 ["詳細はこちら"](#)。

Data Subject Access Request レポート

データサブジェクトの特定の名前または個人 ID に関する情報を含むすべてのファイルのレポートを抽出できます。 ["詳細はこちら"](#)。

PCI DSS レポート

クレジットカード情報のファイルへの配布を識別するのに役立ちます。 ["詳細はこちら"](#)。

HIPAA レポート

健全性情報がファイルにどのように分散されているかを確認できます。 ["詳細はこちら"](#)。

データマッピングレポート

作業環境内のファイルのサイズと数について説明します。これには、使用容量、データの経過時間、データのサイズ、ファイルタイプが含まれます。 ["詳細はこちら"](#)。

特定の情報タイプに関するレポート

個人データや機密性の高い個人データを含む、特定されたファイルの詳細を含むレポートを利用できます。カテゴリおよびファイルタイプ別に分類されたファイルを表示することもできます。 ["詳細はこちら"](#)。

スキャンのパフォーマンスは変化しますか？

スキャンパフォーマンスは、クラウド環境のネットワーク帯域幅と平均ファイルサイズによって異なります。

サポートされているファイルタイプはどれですか。

Cloud Data Sense は、すべてのファイルをスキャンしてカテゴリやメタデータに関する分析情報を検索し、ダッシュボードのファイルタイプセクションにすべてのファイルタイプを表示します。

データセンズが個人識別情報（PII）を検出した場合、または dsar 検索を実行した場合、サポートされるファイル形式は .csv、.dcm、.dcm、.dom、.DOC、.DOCX のみです。 .json、.pdf、.PPTX、.rtf、.TXT、.XLS、.xlsx のいずれかです。

クラウドデータセンズを有効にする方法

まず、Cloud Manager に Cloud Data Sense のインスタンスを導入する必要があります。インスタンスの実行が完了したら、既存の作業環境およびデータベースで、 * Data Sense * タブまたは特定の作業環境を選択して、インスタンスを有効にすることができます。

["開始方法をご確認ください"](#)。



Cloud Data Sense をアクティブにすると、すぐに初期スキャンが実行されます。スキャン結果はすぐ後に表示されます。

クラウドデータセンズを無効にする方法

データセンズ構成ページでは、個々の作業環境、データベース、ファイル共有グループ、OneDrive アカウントをスキャンすることを無効にできます。

["詳細はこちら"](#)。



クラウドデータセンズインスタンスを完全に削除するには、クラウドプロバイダのポータルから手動でデータセンズインスタンスを削除します。

Cloud Volumes ONTAP でデータ階層化が有効になっている場合はどうなりますか。

コールドデータをオブジェクトストレージに階層化する Cloud Volumes ONTAP システムでは、クラウドデータの意味を有効にすることができます。データ階層化が有効になっている場合、データセンズは、ディスクにあるすべてのデータと、オブジェクトストレージに階層化されたコールドデータをスキャンします。

コンプライアンススキャンはコールドデータを加熱しません — コールドデータを保存し、オブジェクトストレージに階層化します

クラウドデータセンズを使用してオンプレミスの ONTAP ストレージをスキャンできますか。

はい。オンプレミスの ONTAP クラスタを Cloud Manager で作業環境として検出しているかぎり、任意のボリュームデータをスキャンできます。

または、オンプレミスの ONTAP ボリュームから作成されたバックアップファイルに対してコンプライアンス

スキャンを実行することもできます。オンプレミスからバックアップファイルを作成している場合は [こちら](#) を使用しています **"クラウドバックアップ"**では、これらのバックアップファイルに対してコンプライアンススキャンを実行できます。

["詳細はこちら。"](#)。

Cloud Data Sense は、自分の組織に通知を送信できますか？

はい。ポリシー機能と一緒に、ポリシーの結果が返されたときに Cloud Manager のユーザ（日単位、週単位、または月単位）に E メールアラートを送信して、データを保護するための通知を受け取ることができます。の詳細を確認してください **"ポリシー"**。

ステータスレポートは、組織内で共有できる .csv 形式の [調査] ページからダウンロードすることもできます。

組織のニーズに合わせてサービスをカスタマイズできますか。

Cloud Data Sense は、すぐに使用できる分析情報をデータに提供します。これらの分析情報を抽出して、組織のニーズに活用できます。

また、「 * Data Fusion * 」機能を使用すると、スキャンしているデータベース内の特定の列にある条件に基づいて、すべてのデータをデータセンススキャンできます。基本的には、独自のカスタム個人データ型を作成できます。

["詳細はこちら。"](#)。

ファイルに埋め込まれた **AIP** ラベルを使用して **Cloud Data Sense** を実行できますか。

はい。加入している場合、Cloud Data Sense がスキャンしているファイルで AIP ラベルを管理できます **"Azure 情報保護 (AIP)"**。既にファイルに割り当てられているラベルを表示したり、ファイルにラベルを追加したり、既存のラベルを変更したりできます。

["詳細はこちら。"](#)。

クラウドデータの意味に関する情報を特定のユーザに制限できますか。

はい。Cloud Data Sense は Cloud Manager と完全に統合されています。Cloud Manager ユーザは、ワークスペースの権限に基づいて表示可能な作業環境の情報のみを表示できます。

また、特定のユーザがデータセンス設定を管理することなくデータセンススキャン結果を表示できるようにするには、これらのユーザに `_Cloud Compliance Viewer_role` を割り当てることができます。

["詳細はこちら。"](#)。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.